

堺市こころの健康センター所報

第 7 号

(平成24年度実績)

堺市こころの健康センター

はじめに

平成 24 年中の全国の自殺者数が 15 年ぶりに 3 万人を下回りました。自殺者の総数は 27,858 人で、前年に比べ 2,793 人 (9.1%) 減少したことになります。それでも急増する前年の平成 9 年中の 24,391 人と比べて、まだ上回っていることに違いはありません。引き続き日々の相談支援を丁寧に、他の機関との連携を密にしていけることが大切となります。

堺市では、平成 21 年 4 月から本庁精神保健課の“いのちの応援係”による警察と連携した（平成 23 年 11 月から消防とも）自殺未遂者支援を開始し、これまで 160 人を超える相談を受理しました。しかし、定期的なカンファレンスで問題となるのが、当初同意が得られても後日支援を拒否されることです。これは援助希求行動とも関係していて、何らかの困難に直面した時や自分で解決することが困難な時に、他者に対して、容易に助けを求めたがらないという現状があります。その一方で、悩んでいることを自覚していない思春期の方もいて、突然自殺未遂で事態が発覚することも指摘されています。早期からの相談することへの教育、啓発が重要であることは言うまでもありません。これまで、全国で様々なメンタルヘルスについての授業の試みがなされてきています。当センターでも実施可能性や内容の検討を行い、早期教育で実践のある三重県立こころの医療センターの取り組みも参加見学しました。これらを踏まえて平成 25 年度に中学校でモデル授業を実施する予定です。また、啓発ではアロマやハーブなどの違法ドラッグの問題も挙げられます。当センターの薬物相談でも急激に増えてきており、保健所と連携した啓発も喫緊の課題で若年層からの予防が重要です。

ひきこもりの相談では平成 20 年度には 319 件だった実件数が、平成 24 年度には 2 倍以上の 763 件と増えており、目的に合わせた様々なグループワークを発展させてきています。今後は、就労に向けた選択肢を、連携の中でどう増やすのかという課題があります。さらには、精神保健福祉法の改正や刑法等の一部改正など、社会情勢の変化に伴い益々センターへの期待が増えてきている中、今後も引き続きまして、皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 25 年 10 月

堺市こころの健康センター
所長 森川 将行

目 次

| | |
|------------------------------------------|----|
| はじめに | 1 |
| I 堺市こころの健康センターの概要 | |
| 1 施設 | 3 |
| 2 組織と職員数 | 5 |
| II 事業概要と業務実績 | |
| 1 専門相談・診療事業 | 6 |
| 2 教育研修事業 | 11 |
| 3 普及啓発事業 | 15 |
| 4 技術支援事業 | 19 |
| 5 組織育成事業 | 20 |
| 6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定 | 21 |

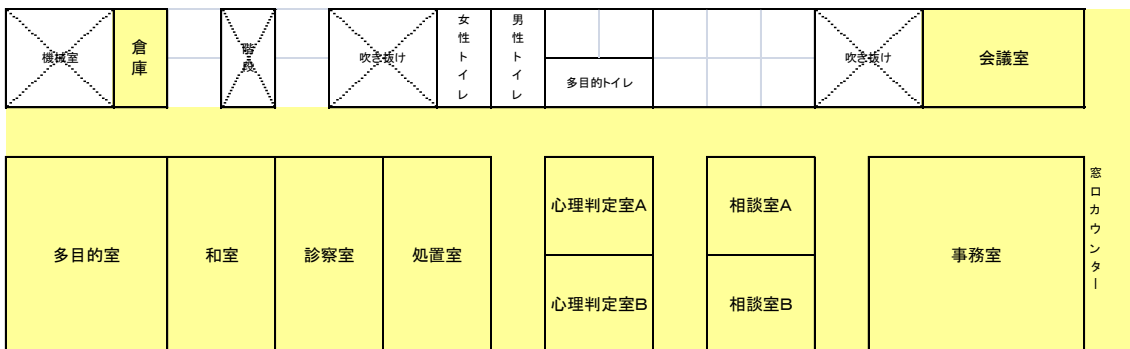
I 堺市こころの健康センターの概要

1 施設

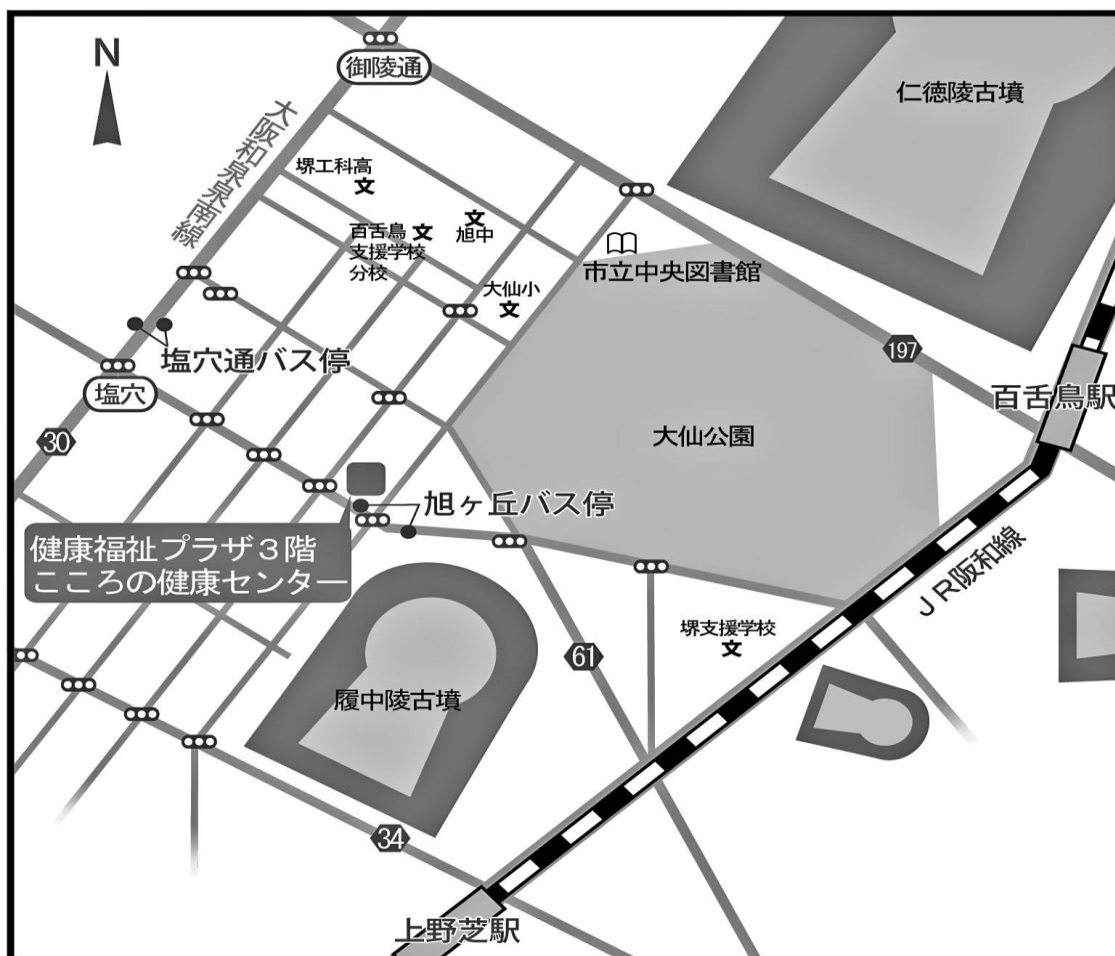
1-1 外観



1-2 平面図



1-3 所在地



〔住所〕〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ3階

〔電話〕072-245-9192 〔FAX〕072-241-0005

072-243-5500 (こころの電話相談)

072-241-0880 (ひきこもり電話相談)

072-245-9192 (自死遺族相談)

〔アクセス〕JR阪和線「百舌鳥」駅下車 西へ1.4km

JR阪和線「上野芝」駅下車 北西へ1.3km

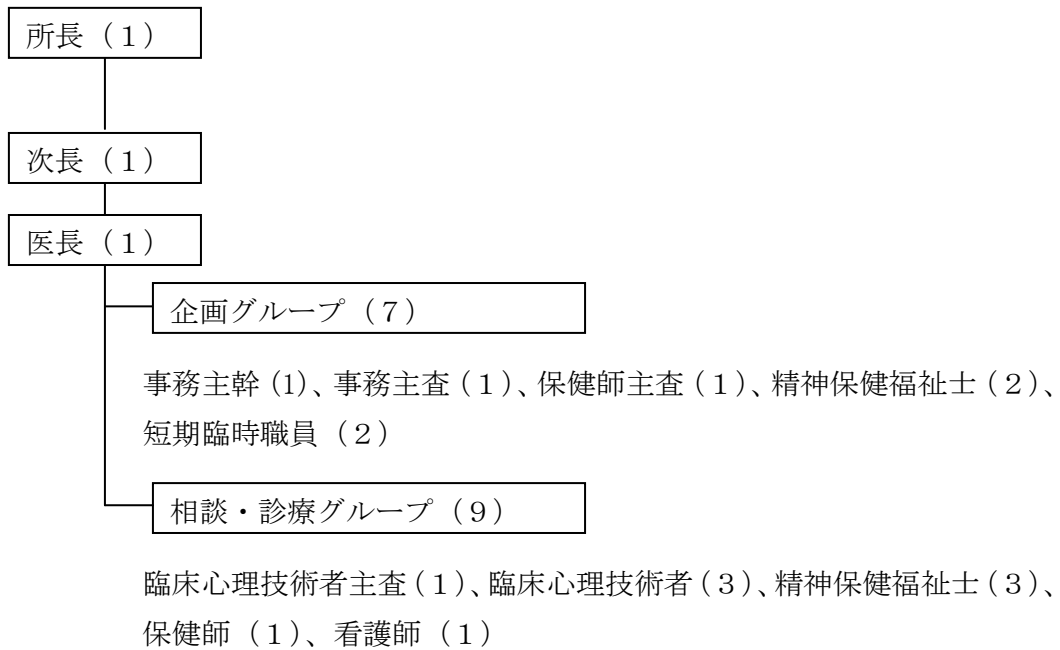
南海バス「堺東」駅より(泉ヶ丘駅行)乗車、「旭ヶ丘」バス停下車すぐ
南海バス(西区役所前行など)乗車「塩穴通」バス停下車 南東へ500m

1-4 開設

開設年月日 平成18年4月1日

2 組織と職員数

2-1 組織（平成24年4月1日現在）



2-2 職種別職員数（平成24年4月1日現在）

| | 医師 | 精神保健福祉士 | 臨床心理技術者 | 保健師 | 看護師 | 事務職 |
|--------------|----|---------------|---------------|-----|---------------|----------------|
| 所長・次長・ 医長 | 2 | 1 | | | | |
| 企画G | | 2 内非常勤職員 1 | | 1 | | 4 内短期臨時職員 2 |
| 相談・診療G | | 3 内非常勤職員 1 | 4 内非常勤職員 2 | 1 | 1 内非常勤職員 1 | |

電話相談員・・・13名（当番制）

Ⅱ 事業概要と業務実績

1 専門相談・診療事業

1-1 専門相談

精神保健及び精神障害者の福祉に関する相談及び指導のうち、複雑または困難な事例に対する相談業務を行った。

(表 1-1-1) 専門相談事業 利用者数

| | | 延べ数 | 実数 |
|--------|-----------|-------|-----|
| 全体 | | 4,252 | 763 |
| 再 掲 | ひきこもり専門相談 | 2,843 | 277 |
| | 薬物依存専門相談 | 266 | 70 |
| | 自死遺族専門相談 | 85 | 19 |

1) ひきこもり専門相談

ひきこもり状態にある本人及び関係者に対し、本人の孤立・深刻化等を防ぐために、個別の相談支援を行った。また、ひきこもりという状態像のため本人の来所が困難な場合は、個別の状況に応じて関係機関と連携し、家族や関係者の来所相談・本人への訪問相談を行った。対象は、おおむね 15 歳以上で、自宅以外での生活の場が失われている状態にあり、明らかな精神疾患の存在が認められない本人及び家族・関係者とした（表 1）。

また、集団活動を通して社会への不安の軽減、対人関係認識の向上を図ることを目的としてグループワーク活動を開催したほか、ひきこもりについての理解を深め、本人へのかかわり方についての工夫を見出すために家族教室・交流会を開催した（表 1-1-2）、（表 1-1-3）。

(表 1-1-2) ひきこもり専門グループワーク 利用状況

| 内容 | 概要 | 形式 | 実施回数 | 利用者延数 |
|-----------|----------------------------------|----|------|-------|
| スポーツ | 体育館で卓球などをする | 単回 | 13 | 63 |
| ボランティア | ボランティアなどの体験をする | 単回 | 4 | 24 |
| 就労準備 | 就労準備に関する講座に参加する | 単回 | 3 | 19 |
| 講座 | さまざまな講義を聴く(就労準備以外) | 単回 | 3 | 18 |
| 散策・見学 | 社会見学をしたり観光スポットを歩く | 単回 | 2 | 19 |
| 創作 | 講師の指導のもと、各自でオリジナルTシャツなどの作品を完成させる | 単回 | 1 | 6 |
| 居場所 | 出入り自由な場所で、自由に過ごす | 単回 | 18 | 40 |
| 調理 | ハンバーグやチャーハンなど調理を通じて交流を深める | 単回 | 8 | 21 |
| プレゼンテーション | テーマを決めて調査をした結果をプレゼンテーションする | 連続 | 5 | 33 |
| イベント参加 | 市民参加イベントに参加する | 連続 | 3 | 21 |
| 女性 | 創作を通して交流をする(女性限定) | 連続 | 4 | 6 |
| | | 合計 | 64 | 270 |

(表 1-1-3) ひきこもり家族教室・交流会 利用状況

| 内容 | 概要 | 実施回数 | 利用者延数 |
|-------|----------------------------------------|------|-------|
| 家族教室 | 精神疾患に関する講座や当事者の体験談、本人への関わり方を学ぶワークショップ等 | 4 | 82 |
| 家族交流会 | 家族の思いを話し合い、支え合うための交流会 | 6 | 54 |
| | | 合計 | 136 |

2) 薬物依存専門相談

覚せい剤、麻薬等の違法薬物の依存の問題で困っている本人及び家族等を対象に、個

別の状況に応じた支援を関係機関との連携や精神科医等による相談（毎月1回定例実施）により行った（表1-1-1）。

また、薬物依存症に悩む人たちを支える家族を対象に、薬物問題について正しい理解とその対応について学ぶことを目的として、大阪府と大阪保護観察所との共催で、家族教室を実施した（表1-1-4）。

（表1-1-4） 薬物依存症家族教室 利用状況

| 内容 | 概要 | 実施回数 | 利用者延数 |
|------|---------------------------|------|-------|
| 家族教室 | 薬物依存症についての知識や、本人への関わり方を学ぶ | 8 | 181 |

3) 自死遺族専門相談

大切な人を自殺で亡くした遺族等を対象に、個別の状況に応じた心理カウンセリング（毎月1回定例実施）によるこころのケアを実施したほか、医療機関や遺族会等の情報提供を行った（表1-1-1）。

1-2 専門外来診療事業

公的医療機関として一般精神科では対応困難なケースについて、特定外来診療を予約制で行った（表1-2-1）。

（表1-2-1） 利用者数および診断

| 診断（重複診断あり） | 件数 |
|------------|----|
| 広汎性発達障害 | 8 |
| その他 | 3 |
| 保留 | 1 |
| 合計 | 12 |

1-3 こころの電話相談

こころの病に対する偏見は依然として強く、適切な精神科医療機関及び相談機関に関

する情報は充分ではない状況に対して、電話の利便性の高さや匿名性を生かし、よりスムーズな医療・相談機関等の情報提供を行うとともに、精神障害者の生活相談に即応することを目的として、電話相談を実施した（表 1-3-1）、（表 1-3-2）、（表 1-3-3）。なお、平成 24 年 9 月より全国こころの健康統一ダイヤル（0570-064-556）に常時加入した。

専用回線（1 回線）により、専従の電話相談員（有資格者）が土・日・祝日・年末年始を除く 9:00～12:30、13:30～17:00 に対応した。

また、電話相談における常連通話者（リピーター）や困難事例への対応の検討、及び相談技術の向上、社会資源の情報の更新等を目的に、電話相談員の連絡調整会議を実施した。

（表 1-3-1） 件数（相談日は 245 日）

| | 件数 | 日平均 |
|----------|-------|------|
| 全体 | 2,652 | 10.8 |
| （内新規相談） | 739 | 3.0 |
| （内リピーター） | 1,913 | 7.8 |

（表 1-3-2） 相談時間（分）

| | 件平均 |
|-------|------|
| 全体 | 19.2 |
| 新規 | 20.6 |
| リピーター | 18.7 |

（表 1-3-3） 相談内容

| 内容 | 件数 |
|---------|-------|
| 老人精神保健 | 88 |
| 社会復帰 | 34 |
| アルコール | 12 |
| 薬物 | 5 |
| 思春期 | 40 |
| 心の健康づくり | 1,809 |
| その他 | 664 |

1-4 ひきこもり地域支援センター

平成 23 年度より、こころの健康センター内に「ひきこもり地域支援センター（成人期）」を設置し、ひきこもり対策に取り組んだ。ひきこもりで悩むご本人やご家族が孤立し、問題が長期化・重症化しないよう、市民に対する講演会の実施や、ホームページ・リーフレット等を使った啓発を行った。また、各関係機関のネットワークを構築し、支援体制の整備を行った。さらに、これまでのひきこもり専門相談に加えて、「ひきこもり相談電話」を設置して利便性を高め、より広く市民からの相談に応じた。

- 1) ひきこもり市民講演会 (12月8日 堺市立健康福祉プラザ) 参加者：92人
テーマ「精神科医は見た！～ひきこもりに潜む精神疾患・発達障害～」

- 2) ひきこもり相談電話
ひきこもりに特化した相談窓口として専用回線で相談受付を行った。
ひきこもり相談電話：延べ 79件

2 教育研修事業

2-1 新任者研修

精神保健福祉相談関係機関で相談業務に従事する原則1年未満の職員を対象に、精神障害に関する基礎的な知識と基本的な技術の習得を目的として研修を行った。

(表 2-1) 新任者研修 実施実績

| | |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日 | 平成 24 年 5 月 29 日～6 月 1 日 (4 日間) |
| 場所 | 堺市立健康福祉プラザ 3 階 大研修室等 |
| 内容 (講師) | ① 精神保健福祉における生活支援 ～自分らしい生活を支援するとは～ (桃山学院大学 栄セツコ氏) ② 堺市における精神保健福祉行政の歴史 (精神保健福祉士) ③ 精神疾患の基礎知識 (精神科医) ④ 堺市における自殺対策について (精神保健福祉士) ⑤ 現場からの声 (精神保健福祉士、ほのぼのステーション 中司順子氏) ⑥ 家族の思い (堺のぞみの会 林信子氏) ⑦ 見学実習・報告会 (阪南病院 宮井潤一氏、アンダンテ就労ステーション 森克彦氏、しののめハウス 管野治子氏、こころの健康市民サポートセンター 大石雅氏) ⑧ 援助職のストレスケアについて (臨床心理技術者) |
| 参加人数 | 延 98 人 |

2-2 現任者研修

精神保健福祉相談関係機関で相談業務に従事する職員を対象に、精神障害に関する理解を深め支援の技術を向上させることを目的として研修を実施した。

(表 2-2) 現任者研修 実施実績

| | |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日 | ①6/20 ②7/31 ③8/21 ④9/10 ⑤9/6 ⑥11/21 ⑦12/15 ⑧2/15・20・3/1 |
| 場所 | 堺市立健康福祉プラザ3階 大研修室等 |
| 内容 (講師) | ① うつ病の再考 ～うつをめぐる新しいモノサシ～ (こころの健康センター 精神科医) ② 面接技法 (入門) (大阪府立大学 山中 京子 氏) ③ 子どものうつ病 (関西大学 佐藤 寛 氏) ④ 価値のワーク・事例検討 (大阪府立大学 山中 京子 氏) ⑤ 面接技法 (続編) (大阪府立大学 山中 京子 氏) ⑥ 薬物乱用、中毒、依存の区別と理解 (こころの健康センター 精神科医) ⑦ 子どものための認知行動療法 (関西大学 佐藤 寛 氏) ⑧ 初心者のための事例検討 (大阪人間科学大学 辻井 誠人 氏) |
| 参加人数 | 延 124 人 |

2-3 相談員研修

保健センターの精神保健福祉相談員を対象に、ケースワーク技術の向上、相談員間の情報共有と連携を図るため、事例検討研修を実施した。

(表 2-3) 相談員研修 実施実績

| | |
|------|-------------------------------------------------------------------|
| 実施日 | ①5/18 ②6/15 ③7/20 ④8/17 ⑤9/21 ⑥10/19 ⑦11/16 ⑧12/21 ⑨1/18 ⑩2/15 |
| 内容 | 事例検討 |
| 参加人数 | 延 38 人 |

2-4 講師派遣研修

精神保健福祉関係機関や精神保健福祉に関心のある団体等からの要請により所内の専門職を派遣した。

(表 2-4) 講師派遣実績

| 実施日 | 対 象 | 内 容 | 派遣講師 | 参加人数 |
|-----------------|--------------|------------------------|---------|------|
| 4月7日 (午前・午後) | 堺市職員 | メンタルヘルスについて | 医師 | 161人 |
| 4月24日 | 堺市職員 | 当センター業務について | 精神保健福祉士 | 70人 |
| 7月5日 | 専門相談機関従事者 | 自殺防止対策について | 臨床心理士 | 140人 |
| 8月6日 | 堺市職員 | メンタルヘルスについて | 医師 | 30人 |
| 8月28日 | 精神保健福祉業務従事者 | 自殺に傾いた人の対応について | 医師 | 40人 |
| 9月20日 | 障害者虐待対応福祉関係者 | 障害者虐待窓口対応について | 精神保健福祉士 | 45人 |
| 10月15日 | 社会福祉復帰調整官 | 通院期間延長、再入院、再他害行為事例について | 精神保健福祉士 | 20人 |

| | | | | |
|-----------|--------------|-------------------|---------|------|
| 11月22日 | 介護事業者 | ホームヘルパーの資質の向上について | 医師 | 20人 |
| 12月3日 | 介護実践者 | 認知症の医学的理解について | 医師 | 40人 |
| 3月23日 | 精神保健福祉業務従事者 | 自殺対策について | 医師 | 233人 |
| 3月25日 | 障害者虐待対応福祉関係者 | 障害者虐待防止について | 精神保健福祉士 | 24人 |
| 合 計 (12回) | | | | 823人 |

2-5 学生実習

医科大学生等について、こころの健康センターで実習を行った。

(表 2-5) 学生実習受入実績

| 学校名 | 人数 | 実習場所 |
|---------------|----|-------------|
| 奈良県立医科大学 | 6 | こころの健康センター等 |
| 大阪保健福祉専門学校 | 1 | こころの健康センター等 |
| 浪商学園 (大阪体育大学) | 1 | こころの健康センター等 |
| 日本メディカル福祉専門学校 | 1 | こころの健康センター等 |

3 普及啓発事業

3-1 精神保健福祉セミナー

広く市民に精神保健福祉に関する正しい知識の普及・啓発を行い、こころの健康についての関心を促すことによって、ノーマライゼーションの理念の実現を図り、こころ豊かなまちづくりを市民の側から進めるきっかけとすることを目的として企画開催した。企画・運営は、市内関係各機関で構成された実行委員会により実施した。

(表 3-1) 精神保健福祉セミナー開催実績

| | |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 名称 | 第 19 回堺市精神保健福祉セミナー 「人生七転び八起き！ ～元気に生きてるぜえ。ハッピーだろ～」 |
| 開催日 | 平成 24 年 12 月 1 日 (土) |
| 場所 | 関西大学堺キャンパスアリーナ |
| 主催 | 第 19 回堺市精神保健福祉セミナー実行委員会 |
| 内容 | ・第 1 部 劇「人生七転び八起き！ ～元気に生きてるぜえ。ハッピーだろ～」：精神障害のある当事者・家族・支援者が演じる劇 ・第 2 部 講演会「笑えば元気がわいてくる」 講師：関西大学人間健康学部教授 森下伸也氏（日本笑い学会会長） |
| 参加者 | 約 191 人 |

3-2 ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会）

堺市内の医療機関もしくは社会復帰施設等を利用する精神障害者やその家族、関係機関の職員及びボランティアを含めた市民等が相互に交流することにより、精神障害者への理解を深め、精神障害者の社会参加を促進するとともに、地域のネットワークづくりの構築を推進することを目的として開催した。

(表 3-2) ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会）開催実績

| | |
|-----|--------------------------------------------------|
| 名称 | 第 24 回 ハッスル運動会（堺市精神障害者地域交流運動会） |
| 開催日 | 平成 24 年 10 月 18 日 (木) |
| 場所 | J-GREEN 堺（堺市立サッカーナショナルトレーニングセンター） 屋根付フットサルコート |
| 主催 | 堺市精神障害者地域交流運動会実行委員会 |

| | |
|---------------|---------------------------------------------------|
| 企業協力 (順不同) | 大阪いずみ市民生活協同組合、(株)神戸屋堺工場、堺ヤクルト販売(株)、東燃ゼネラルグループ労働組合 |
| 参加者 | 総数：533人（当事者349人、スタッフ等184人） |

3-3 家族講演会

精神障害者の家族を対象に精神障害についての研修を行い、家族の不安を軽減するとともに、交流の機会を設け、孤立を防止することを目的として、開催した。

(表 3-3) 家族講演会実績

| 名称 | 精神障害者家族講演会 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 開催日 | ①6月16日 ②9月15日 ③3月23日 |
| 場所 | 総合福祉会館 大研修室 |
| 主催 | 堺市・精神障害者家族会 堺のぞみの会・精神障害者家族会 美原つくし会 |
| 内容 | ①「この町でありのまま暮らそう」 講師：塚本 正治 氏（シンガーソングライター） ②「誰もが元気で暮らすことを目指して一そのための具体的な支援を考える一」 講師：菅野 治子 氏（社会福祉法人朋志美会） ③「精神科クリニックを開業して思うこと～統合失調症を中心に」 講師：石田 栄吉 氏（石田メンタルクリニック） |
| 参加者 | 延べ198人（①46人 ②59人 ③93人） |

3-4 出前講座

市民人権局が企画している「どこでもセミナー～堺市生涯学習まちづくり出前講座～」に「こころの健康講座～ストレスと上手につきあうコツ～」、「簡単うつ病講座～身近なうつ病、気づいていますか？～」の2つの講座メニューを登録し、こころの健康づくりに関する知識の普及・啓発を行った。

(表 3-4) 出前講座実績

| 内容 | 実施回数 | 参加人数 |
|---------------------------|------|--------|
| こころの健康講座～ストレスと上手につきあうコツ～ | 6 | 延べ161人 |
| 簡単うつ病講座～身近なうつ病、気づいていますか？～ | 7 | 延べ122人 |
| 合計 | 13 | 延べ283人 |

3-5 講師派遣

精神保健福祉関係機関、精神保健福祉に関心のある団体等からの要請により専門職を派遣した。

(表 3-5) 講師派遣実績

| 実施日 | 対象 | 内容 | 派遣講師 | 参加人数 |
|--------|--------------------|-------------------|---------|--------|
| 6月25日 | 一般市民 | 精神障害者の理解と接し方について | 精神保健福祉士 | 30人 |
| 9月29日 | 一般市民 | 大災害と心の健康について | 医師 | 400人 |
| 10月11日 | 一般市民 | 精神障害をもつ方への接し方について | 精神保健福祉士 | 450人 |
| 10月15日 | 精神障害者 | ピアヘルパー事業面接 | 精神保健福祉士 | 12人 |
| 1月20日 | スポーツ指導員 | 精神障害の基礎知識について | 精神保健福祉士 | 30人 |
| 2月15日 | 学術団体、国・地方公共団体の従事者等 | 自殺対策について | 医師 | 100人 |
| 2月19日 | 企業（会社） | うつ病について | 医師 | 10人 |
| 3月23日 | 一般市民 | 保護者制度について | 精神保健福祉士 | 93人 |
| 合計（8回） | | | | 1,032人 |

3-6 機関誌の発行

堺市こころの健康センター通信（機関誌、愛称『こころのさかい』）を年2回発行し、市内各区の図書館、区役所の市政情報コーナーなど市民が利用することの多い場所に配架した。

（表 3-6）「こころのさかい」発行実績

| 発行年月 | 通算 | 発行部数 | 主な内容 |
|-------------|--------|---------|----------|
| 平成 24 年 9 月 | 第 16 号 | 2,000 部 | 災害後のこころ② |
| 平成 25 年 3 月 | 第 17 号 | 3,000 部 | アルコールと睡眠 |

3-7 啓発冊子の作成

精神的健康の増進、精神疾患に対する正しい知識の普及を目的として冊子を作成し、各区の保健センターへ配架した他、講演会、イベント等で配布した。

（表 3-7）啓発冊子発行実績

| 名称 | 発行部数 |
|----------------|---------|
| 研究紀要 | 500 部 |
| アルコール依存症とは | 2,000 部 |
| 産後のこころの健康 | 3,000 部 |
| 災害後のこころの回復のために | 4,000 部 |

3-8 ホームページ

精神障害者に対する支援制度、利用可能な資源、精神疾患に関する知識、研修会、講演会等の開催情報など、こころの健康センターのホームページに掲載した。

URL:

<http://www.city.sakai.lg.jp/kenko/kenko/hokencenter/kenkocenter/index.html>

4 技術支援事業

4-1 関係機関への技術支援

市内各区の保健センター及びその他の相談機関が実施している精神保健相談業務等に対して、技術支援を行った。地域相談事業の主体機関である保健センター相談業務に対しては、セカンドオピニオンの機能することで側面からの支援を行った。保健センターに対して20回、相談機関等に対して55回実施した。

4-2 事業への技術支援

精神障害者の福祉向上施策の推進のためには、関係機関との連携が不可欠なことから関係機関が実施・主催する連絡会議、ケース会議等に積極的に参加し、情報共有を図りながら、こころの健康センターの専門性を生かした技術支援・技術指導を行った。

(表4) 技術支援・技術指導 実績

| 事業 | 実施主体 | 内容 | 回数 |
|--------------|---------------|--------------------------------|----|
| 社会適応訓練事業 | 障害施策推進課、精神保健課 | 運営懇話会への出席、研修会への協力 | 10 |
| 医療観察法関連事務 | 大阪保護観察所 | 会議参加、医療観察法勉強会 | 9 |
| 地域生活支援事業 | 障害施策推進課 | 堺市障害者自立支援協議会及び各区障害者自立支援協議会への出席 | 52 |
| 堺市地域福祉権利擁護事業 | 社会福祉協議会 | 契約締結審査会への出席 | 6 |
| 自殺対策事業 | 精神保健課 | 自殺対策連絡懇話会、庁内連絡会への出席 | 5 |
| 病院実地指導 | 精神保健課 | 市内精神科病院の実地指導立会い | 5 |
| 合計 | | | 87 |

5 組織育成事業

市民の精神保健福祉の向上を図るために、地域住民による組織活動に対して支援を行った。

(表 5) 組織育成事業 実績

| 対象 | 回数 |
|------|----|
| 家族会等 | 7 |

6 精神医療審査会・自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

6-1 精神医療審査会

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神医療審査会事務局を設置し、精神医療審査会を開催している。合議体は2合議体で、平成24年度は合議体を24回開催した。

(表6-1-1) 審査委員内訳

| 委員 | 人数 |
|-------------|---------------|
| 精神保健指定 医 | 6 予備委員1名含む |
| 弁護士 | 2 |
| 学識経験者 | 3 |

(表6-1-2) 届出書類件数

| 届出書類 | 件数 |
|-----------------|-------|
| 医療保護入院者の入院届 | 2,469 |
| 医療保護入院者の定期病状報告書 | 946 |
| 措置入院者の定期病状報告書 | 11 |

(表6-1-3) 退院および処遇改善請求

| | 件数 |
|-------------|-----|
| 請求電話架電数（延べ） | 430 |
| 受理 | 38 |
| 年度内審査完了件数 | 23 |
| 取り下げ | 12 |
| 要件消失 | 2 |
| 審査結果次年度繰越 | 1 |

(表6-1-4) 請求者の入院形態

| 入院形態 | 件数 |
|--------|----|
| 措置入院 | 5 |
| 医療保護入院 | 33 |
| 任意入院 | 0 |

* 退院と処遇改善の同時請求は1件として計上

(表6-1-5) 請求内容別審査結果件数

| 請求内容 | | 審査結果 | | | | |
|--------|----|-----------|-------------|------|------|------|
| | | 入院を 継続 | 入院形態 の変更 | 退院命令 | 処遇妥当 | 処遇改善 |
| 退院請求 | 23 | 17 | 6 | 0 | | |
| 処遇改善請求 | 7 | 0 | 0 | 0 | 4 | 3 |

6-2 自立支援医療（精神通院医療）及び精神障害者保健福祉手帳の判定

1) 自立支援医療(精神通院)支給判定業務

自立支援医療(精神通院)支給にかかる診断書の判定業務を行った。

(表 6-2-1) 自立支援医療(精神通院)判定件数

| 判定 | 件数 |
|-----|-------|
| 承認 | 4,831 |
| 不承認 | 1 |
| 合計 | 4,832 |

2) 精神障害者保健福祉手帳判定業務

精神障害者保健福祉手帳の申請にかかる診断書の判定業務を行った。

(表 6-2-2) 精神障害者保健福祉手帳判定件数

| 判定 | 件数 |
|-----|-------|
| 承認 | 2,151 |
| 不承認 | 13 |
| 合計 | 2,164 |

堺市こころの健康センター所報 第7号（平成24年度実績）

編集・発行 堺市健康福祉局健康部こころの健康センター

〒590-0808 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号

堺市立健康福祉プラザ3階

TEL 072-245-9192 FAX 072-241-0005

E-mail kokense@city.sakai.lg.jp